

謡講の再現

〔素謡〕は、能楽の詞章を、朗読の形態で謡い情景を表現するもので、舞台上で演じられる能楽とはまた別の芸術性をもった芸能です。古来京都では、「京観世」という独特の謡い方が生まれるほど広くたしなまれ、座敷に聴衆を集めて催す謡会が盛んに行なわれました。これを「謡講」といい、謡い手が障子や御簾の内を謡うという、独特の形式で演じられました。ほの暗さの中で謡われる声に聴覚が研ぎ澄まされ、曲の情景が目の前に広がるという感想を寄せていただいています。

京都の各地で繰り広げられる第26回国民文化祭を記念して、前回に引き続き京都を舞台にした、秋の風情を感じる名曲を選びました。また、江戸期に作られ、京都の縦横の通りの名を謡った〈九重〉も記念に披露いたします。

今回の会場「平野の家わざ 永々棟」は、数奇屋大工棟梁の山本隆章さんと職人さんたちが、伝統技術を駆使して三年間をかけて改修に当たり、昨年十一月に完成した大正末期の和洋折衷の邸宅です。

尚、スペースの都合上、定員を各五十名とさせていただきます。どうかお早目にお申し込み下さいますようお願いいたします。

(KK記)

出演者紹介

井上家 元禄期より京都に住し、京観世五軒家・蘭家の姻戚弟子家として斯道に従事。蘭家が絶えた後、蘭家の芸統を守り伝えている。

井上裕久 シテ方観世流 昭和30年生。9世嘉介の長男。父及び25世観世流宗家親世左近、26世観世流宗家親世清和に師事。卒都婆小町、等を披く。〔公益社団法人〕京都観世会専務理事、〔公益社団法人〕能楽協会理事、〔社〕京都能楽会理事、〔社〕日本能楽会会員、国指定重要無形文化財「能楽」総合指定保持者、国立能楽堂三役養成事業講師。

吉浪壽晃 シテ方観世流 昭和40年生。故吉浪準一の長男。井上嘉介、井上裕久に師事。東京藝術大学卒。同大学にて故25世観世流宗家親世左近、故藤波重満に師事。道成寺・石橋・狸々乱・千歳・隅田川を披く。〔公益社団法人〕観世会理事、〔公益社団法人〕能楽協会京都支部常議員。

浦部幸裕 シテ方観世流 昭和42年生。浦部好弘の長男。井上嘉介、井上裕久に師事。東京藝術大学卒。同大学にて故25世観世流宗家親世左近、故藤波重満に師事。道成寺・石橋・狸々乱・千歳を披く。〔公益社団法人〕京都観世会、〔公益社団法人〕能楽協会京都支部、〔社〕京都能楽会所属。

吉田篤史 観世流シテ方 昭和49年生。吉田潔司の長男。井上嘉介、井上裕久に師事。同志社大学在学中に内弟子として修業。平成13年独立。道成寺・石橋・狸々乱・千歳を披く。〔公益社団法人〕京都観世会、〔公益社団法人〕能楽協会京都支部、〔社〕京都能楽会所属。

会場風景



今後の予定

平成24年2月18日(土) 会場・奈良屋杉本家

出稽(入場券)申し込み方法

申込書にご記入のうえ、洛語社事務局にお申送ください(電話・Fax・メールでも可)。折り返し入場券と振込用紙をお送り申し上げます。

申込先/洛語社事務局 〒6040821 京都市中京区二条通柳馬場西入 デトムワン烏丸二条一〇二 檜書店内
(木・土・日・祝日を除く10~16時) / Tel 075-231-3796 / fax 075-231-2508 / E-mail: HHP02725@nifty.com

※駐車・駐輪のスペースはございません。
※このチラシの「謡講之図」および写真は個人(K,K)が有する。無断複写・転載を禁じます。

—— 謡講・京の町家で謡を楽しむ —— 申 込 書

(第一部 午後2時始)

枚)

(第二部 午後5時始

枚)

お名前

ご住所 〒

電話

